

## 昭和34年度日本気象学会賞候補者推薦に関する件

向寒のみぎり、いよいよ御清栄のことと拝察致します。さて、今度本委員会では昭和34年度日本気象学会賞候補者の選考をいたすことになりました。日本気象学会賞は、過去5年間に発表された独創的な論文(主に気象集誌にのせられたもの)を審査し、優秀な研究をしたもの2件を選んで、これに与えられるものです。

つきましては、審査の参考に致したく、その候補者を御推薦いただければ幸に存じます。

なお、2件またはそれ以上御推薦の場合は順位を付し、右の様式で御記入のうえ、

東京都千代田区大手町 気象庁内

日本気象学会

学会賞候補者推薦委員会宛

昭和34年1月20日までに御送りいただきたく存じます。まずは御願ひまで。

日本気象学会 学会賞候補者推薦委員会

### 学会賞候補者推薦様式

昭和 年 月 日

推薦順位

候補者名(ふりがな)

年 月 日生

最終学歴

学位

現在の勤務先及び地位

研究題目

関係論文及び掲載雑誌(年, 巻, 号)

推薦理由

推薦者名

Ⓔ

勤務先及び地位

住所

日本気象学会 学会賞候補者推薦委員会

学

界

消

息

### 1. 関氏に神奈川文化賞

去る11月3日文化の日に、気象庁岡田研究室勤務の関重雄氏は神奈川文化賞を授与された。氏は明治17年3月29日愛媛に生れ、明治36年東京物理学校を卒業後、中央気象台をふり出しに、生涯を検汐観測と取組み、その卓越した技術はわが国の第1人者である。(気象庁ニュースより)

### 2. CMM 作業委員会議長に寺田氏

海上気象委員会の「国際漁業機関に関する作業委員会」の議長に寺田一彦氏が就任するよう、WMO 事務局長から要請があり、これを受諾された。(気象庁ニュースより)

### 3. ドーヴィレ博士来日

College de France 教授, A. Dauviller 博士は去る11月来日し、日本の火山の活動状況などを視察された。

### 4. メルボルンの南極気象シンポジウム

1959年2月18日から開かれる南極気象シンポジウムに

気象庁から提出される論文は次の2つである。

i) 高橋喜彦: On the heat budget through snow surface in the Antarctic.

ii) 守田康太郎: On the climatic local effect in the vicinity on Lützoholm Bay. (気象庁ニュースより)

### 5. 国際海洋会議で論文募集

1959年8月30日～9月12日に、ニューヨークの国連ビルで開かれる国際海洋会議に若手科学者の論文が提出されるよう望まれている。希望される方は1959年2月1日までに、題目、アブストラクト等が先方に必着するように提出する。詳しくは394頁を参照して下さい。

天気第5巻の総目次は第6巻1号に載ります。